

出雲シニアカレッジ

平成 出雲塾 2008

神在月の出雲へ 神々との出会いを求めて
「古代出雲の歴史と文化を探る」



加茂岩倉銅鐸(国宝)
荒神谷銅剣(国宝)

平成20年11月4日(火)～11月9日(日)

◆主催  島根大学、 島根県立古代出雲歴史博物館

◆旅行企画／近畿日本ツーリスト

◆後援 島根県、松江市、出雲市、雲南市、大田市、斐川町
松江市開府400年祭推進協議会

平成出雲塾開講

出雲塾では、島根大学松江キャンパスを拠点に、古代出雲と出雲神話の世界の謎を解き明かすような魅力ある講義を受講し、日本最多の青銅器が出土した荒神谷遺跡や加茂岩倉遺跡でフィールドワークを実施します。

また、神在月に出雲の地に集まる八百万の神々をお出迎える出雲大社の神迎祭に参加し、出雲信仰と人々の祈りの心の世界に触れていきます。

講座の後半には、昨年、世界遺産に登録された石見銀山遺跡を訪ね、その歴史的意義と魅力に迫ります。

学習の地、松江市は、かつて、ラフカディオ・ハーンが著した「日本の面影」の舞台ともなった静かな城下町であり、松江で過ごす一週間は、地元の人々との出会いや学生との交流、そして現地学習体験を通じて出雲地域の歴史や伝統文化に触れ、充実した時間を過ごせるものと確信しております。



平成出雲塾の開講に当たって

島根大学長 本田雄一

島根県出雲地方は古代からの歴史と伝統に満ちており、神話の古里とも言われています。創建当時、雲太、和二、京三と唄われたほどの壮大さを誇った出雲大社本殿の規模を見れば、著しく発展した産業と文化を背景として、出雲地域には国家に相当するほどの権力が存在したと考えられ、当時の繁栄の様子がしのべられます。また、16世紀には世界の銀産出量の3分の1を占めたとされる石見銀山は、環境と調和した銀の産出が行われたことが評価され、2007年、世界遺産に登録されました。貴重な汽水湖である宍道湖、中海は、松江市の景観を構成しており、2005年、湿地環境の保存に関する国際条約であるラムサール条約に登録されています。さらに、島根県は県土の約85%が中山間地域で深い森林におおわれており、緑の多い自然環境が残されています。

このような地にある島根大学は「人と共に、地域と共に、島根大学」を理念として、「地域に根差し、地域社会から世界に発信する個性輝く大学」を目指して、人材育成と創造的な研究活動、それらを通じた社会貢献を進めています。

「平成出雲塾」はこのような島根大学が島根県立古代出雲歴史博物館と協力して開講する公開講座です。講師陣には本学の教員、歴史博物館の学芸員だけでなく、出雲学の泰斗である藤岡大拙先生、古代史の権威である上田正昭先生をお迎えし、親しく古代出雲の歴史を解説して頂きます。「平成出雲塾」は数多くの史跡を直接訪ねるフィールドワークと合わせて、受講生の皆さんの興味と関心に十分応えられる構成になっていると確信しています。

多くの皆さんに古代ロマンに満ちた出雲路を探索いただきたく、「平成出雲塾」へのご参加を心からお待ちしております。



島根県立古代出雲歴史博物館 館長 矢内高太郎

古代出雲歴史博物館の展示室。出雲大社の巨大柱、国宝の銅剣・銅鐸を前に「これはすべて本物ですか!」と驚嘆の声を多くお聞きします。

古代出雲は謎とロマンに満ちています。

『古事記』『日本書紀』にみえる神話の三分の一も出雲系神話が占めています。旧暦10月は「神無月」といいますが、これは全国の八百万の神が出雲に集まるからということで、出雲では「神在月」と呼ばれています。記紀は日本の古代国家が整えられる過程でつくられた書物ですが、何故出雲に関する記述が多いのでしょうか。また、何故全国の神々が出雲に集うのでしょうか。

20年間の構想の下、昨年オープンした島根県立古代出雲歴史博物館では、出雲大社の歴史、出雲国風土記、弥生時代の青銅器群、たたら製鉄、玉作、出雲神話など長年の研究成果をふまえて実物資料を多数展示しています。

出雲の地で神々が集う神在月に企画した出雲塾。ご参加の皆様を上田正昭名誉館長をはじめ、各学芸員から古代出雲の核心に迫る講義を準備してお待ちしています。

島根大学松江キャンパス

施設紹介



法文学部



大学会館(喫茶)



ミュージアム(本部)
大学から出土したものを展示



教養講義棟2号館

出雲塾前半の講義会場



教育学部

出雲塾後半の講義会場

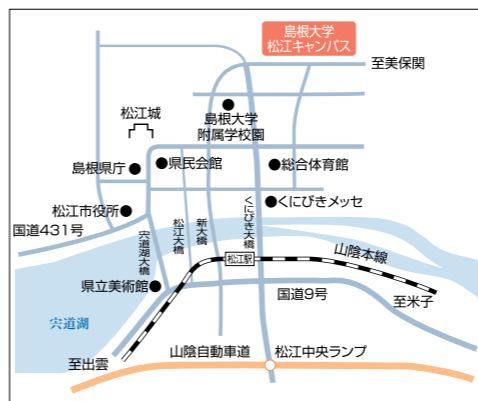


生物資源
科学部

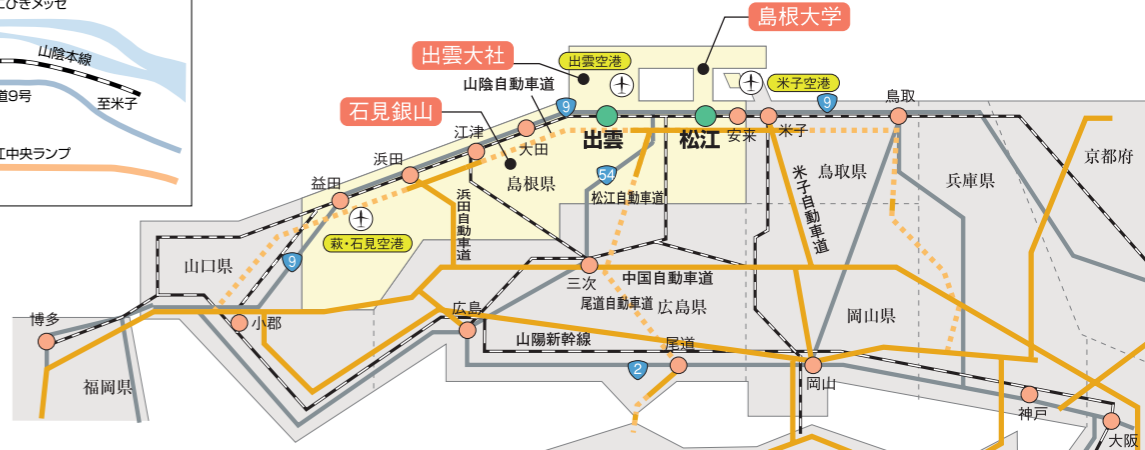


総合理工学部

アクセス




空路	高速バス	JR
東京(羽田)→出雲……………1時間25分	東京(渋谷)→松江……………10時間35分	東京→岡山→松江……………5時間40分
福岡→出雲……………1時間10分	大阪(梅田)→松江……………4時間40分	福岡→岡山→松江……………4時間30分
大阪(伊丹)→出雲……………1時間	札幌→出雲……………2時間	岡山→松江……………3時間15分
札幌→出雲……………2時間	広島→松江……………3時間15分	大阪→岡山→松江……………3時間10分
東京(羽田)→米子……………1時間15分	福岡→松江……………9時間	
名古屋→米子……………1時間05分		
※出雲空港から空港連絡バス松江行(約30分) JR松江駅下車		
※米子空港から空港連絡バス松江行(約45分) JR松江駅下車		




●講義スケジュール	I (9:00~10:30)		II (10:50~12:20)		III (13:20~14:50)		IV (15:10~16:40)		V (放課後タイム)		宿泊地
	11月4日 (火)					入学式・特別講演	特別講義	特別講義	歓迎の会 (17:30~19:00)		松江市
11月5日 (水)	講義 「古代出雲と北ツ海文化」 古代出雲歴史博物館名誉館長・京都大学名誉教授 上田 正昭	講義 「古代出雲と青銅器」～大量の青銅器はなぜ埋められたのか～ 古代出雲歴史博物館学芸部長 松本 岩雄	フィールドワーク	荒神谷遺跡・加茂岩倉遺跡 古代出雲歴史博物館学芸部長 松本 岩雄/島根大学大学ミュージアム准教授 会下 和宏						松江市	
11月6日 (木)	講義 「古代出雲の支配者たち」～四隅突出型墳丘墓から古墳へ～ 島根大学法文学部教授 渡邊 貞幸	講義 「出雲神話と古代史」～古代の王権と神話と出雲～ 島根大学法文学部教授 大日方 克己	講義	講義	「世界遺産 石見銀山遺跡」～石見銀山の歴史と世界的意義～ 石見銀山資料館館長 仲野 義文	フィールドワーク	松江市内の名所旧跡の見学	オプション(交流会)	島根名産を堪能する食事会 (希望者)	松江市	
11月7日 (金)	講義・実習 (9:40~11:40) 島根県立古代出雲歴史博物館～博物館展示資料の解説～ 古代出雲歴史博物館専門学芸員 角田 徳幸	講義 (12:40~14:10) 「古代出雲大社の祭儀と神殿」～鎌倉時代宝治の神殿と遷宮儀式～ 古代出雲歴史博物館専門研究員 佐伯 徳哉	講義 (14:20~15:50)	講義 (16:00~17:30)	「出雲大社・千家国造家・北島国造家」 島根県古代文化センター専門研究員 西尾 克己/岡 宏三	講義 (16:00~17:30)	「神在月の国 出雲」～出雲の神在祭～ 古代出雲歴史博物館専門学芸員 品川 知彦	フィールドワーク (18:30~21:30)	「出雲大社の神迎祭」(船佐浜～神迎えの道～出雲大社) 古代出雲歴史博物館専門学芸員 品川 知彦/古代文化センター専門研究員 岡 宏三	出雲市	
11月8日 (土)	移動 出雲市(ホテル)⇒大田市(大森) (貸切バス 8:30~9:40)	講義 (10:00~11:30) 「石見銀山遺跡とその文化的景観」～世界遺産 石見銀山遺跡の価値～ 大田市教育委員会石見銀山課課長補佐・遺跡整備係長 遠藤 浩巳	講義 (13:00~17:00)	講義 (13:00~17:00)	石見銀山遺跡群・石見銀山資料館・大森の町並み 大田市教育委員会石見銀山課課長補佐・遺跡整備係長 遠藤 浩巳/島根大学大学ミュージアム准教授 会下 和宏			送別の会 (19:00~20:30)	フェアウェル・パーティー 会場(島根大学構内)	出雲市	
11月9日 (日)	講義 (9:30~11:00) 「人と自然が織りなす山陰の地域文化・産業の歴史」 島根大学副学長 高安 克己	修了式 (11:10~11:40) 閉塾の挨拶 島根県立古代出雲歴史博物館長 矢内 高太郎・島根大学副学長 坂本 一光 島根大学受講修了証授与									

●特別講義


11/4 (火) 「出雲学入門」～出雲とは何か～
出雲学という概念は、まだ確立しているわけではないが、出雲という「独自の地域」の風土、歴史、文化等を研究する学問と規定できるだろう。古代の出雲は繁栄していたが、やがて、大和勢力の支配下に入って、閉鎖的な世界を形成する。一方、国譲りの神話が示すように、大和政権は記紀神話という観念の世界において、出雲を大和の対極に位置づけた。その結果、現実的と観念(神話)的との二つの敗北が重なり、出雲はすぐ遠い、目立たない存在としてとらえられるようになったが、他方、神話によって、大和の対極という重い存在も保証された。このような出雲が作り出す歴史、文化、言語等は、きわめて興味深いものがある。ぜひ学んでいただきたいと思う。
NPO出雲学研究所理事長 荒神谷博物館館長 藤岡 大拙 氏




11/5 (水) 「古代出雲と北ツ海文化」
日本海という名称の初見は、1602年のイタリアの宣教師マテオ・リッチの「坤輿万国全図」である。『日本書紀』や『出雲国風土記』では北ツ海とよんでいる。
古代出雲の文化の展開は、北ツ海と深いかわりをもつ。加耶(加羅)・高句麗・渤海などとの関係、あるいは古代出雲と筑紫・高志(越)などとのまじわりを史実にそくして、あらたな視点から考察する。
島根県立古代出雲歴史博物館名誉館長・京都大学名誉教授 上田 正昭 氏



11/5 (水) 「古代出雲と青銅器」～大量の青銅器はなぜ埋められたか～
荒神谷遺跡から出土した大量の青銅器(銅剣358本、銅矛16本、銅鐔6個)、加茂岩倉遺跡発見の日本最多の銅鐔(39個)により、列島における弥生時代の青銅器分布が大きく塗りかえられた。なぜ大量の青銅器が出雲に埋められたのか、その謎に迫る。
島根県立古代出雲歴史博物館学芸部長 松本 岩雄 氏




11/6 (木) 「古代出雲の支配者たち」～四隅突出型墳丘墓から古墳へ～
大量の青銅器埋納後の出雲は、「四隅突出型」と呼ばれる不思議な形の墳丘墓によって特徴づけられる。弥生時代後期後葉には超大型の四隅突出型墳丘墓が造られるようになり、「王」が出現していたことが実証される。その栄光は長くは続かなかったが、大和政権の影響下に入った後も、出雲は他地域とは区別される独特の古墳時代を歩んだ。講義では、弥生墳丘墓や古墳という有力者の墓の実態に基づいて、考古学の立場から律令時代以前の出雲古代史を素描するが、未解明の課題もなお多い。キーワードは、弥生時代の四隅突出型墳丘墓、古墳時代前期の大型方墳、後期の前方後方墳である。
島根大学法文学部教授 渡邊 貞幸 氏




11/6 (木) 「出雲神話と古代史」～古代の王権と神話と出雲～
『日本書紀』『古事記』には「出雲」にかかわった神話が記述されています。これらは天皇の国土統治の正当性を語る王権神話の一部として配置されています。同様に、出雲国造が天皇に奏上する神賀詞奏上儀礼も、また神話の世界を語りながら天皇統治を権威づける儀礼として機能したと考えられています。一方で、『出雲国風土記』にもまた別の形で神話が語られています。これら出雲にかかわる神話の特徴を、古代の国家と地域の権力・権威から位置づけ、その歴史的展開を考えていきます。
島根大学法文学部教授 大日方 克己 氏


11/6 (木) 「世界遺産 石見銀山遺跡」～石見銀山の歴史と世界的意義～
2007年7月国内14番目の世界遺産に登録された「石見銀山遺跡とその文化的景観」。16世紀初め、博多商人によって本格的に開発、その後朝鮮伝来の灰吹法という銀精錬技術を導入して大量の銀を生産しました。石見銀はもともと銀需要の高い中国に輸出されたほか、この情報は倭寇のネットワークを通じてアジアに進出したポルトガルにも伝わって鉄砲伝来のきっかけをなしたといわれています。今回の講座では、石見銀山開発の歴史的意義を世界史的な視点から捉え、石見銀山遺跡が有する世界遺産としての価値について紹介したいと思います。
石見銀山資料館 館長 仲野 義文 氏




11/7 (金) 島根県立古代出雲歴史博物館 ～博物館展示資料の解説～
古代出雲歴史博物館では、出雲塾の講義で取り上げられる弥生時代の青銅器をはじめ、四隅突出型墳丘墓、出雲大社、石見銀山などで出土した文化財を実際に見ることができます。なかでも圧巻は荒神谷遺跡と加茂岩倉遺跡より出土した大量の銅剣・銅矛・銅鐔(国宝)がケース一杯に展示されているコーナーで、400個を超える数の青銅器群を一度に見ることができる博物館は、他にはありません。また、発掘された鎌倉時代の出雲大社本殿の宇豆柱も必見です。杉の巨木3本を金輪で一纏めにした柱は、世界に例を見ないもので、その大きさを、空に聳立つかのような威容を誇ったとされる出雲大社の姿を思い浮かべることができます。
島根県立古代出雲歴史博物館専門学芸員 角田 徳幸 氏




11/7 (金) 「出雲大社の祭儀と神殿」～鎌倉時代宝治の神殿と遷宮儀式～
19年の歳月を費やした中世最後の巨大神殿造営と遷宮の過程を復元する。造営経費の捻出の苦心、造営用材・労働力集めと工事のプロセスを明らかにする。また、宝治2(1248)年の完成にあたって行われた遷宮儀式の次第、演じられた諸芸能、国造や目代・在庁官人、国内荘園・公領の地頭から民衆にいたるまで、儀式に集まった様々な身分や職能の人々の役割などを併せて明らかにして、中世国家による出雲国支配のしくみについて考える。
島根県古代文化センター専門研究員・島根県立古代出雲歴史博物館専門学芸員 佐伯 徳哉 氏




11/7 (金) 「神在月の国 出雲」～出雲の神在祭～
旧暦10月の異名を神無月という。それは一般に全国の神々が出雲に集うからといわれている。一方、神々を迎える出雲では、この月は逆に神在月と呼ばれる。そもそも、なぜ10月は神無月と呼ばれるのだろうか。また、なぜ神々は出雲に集うといわれるのだろうか。さらに、どのようにして出雲への神集い伝承は全国に広まっていたのだろうか。神在祭の歴史とともに、現在、出雲の9社で行われている神在祭をスライドで紹介しながら、このような問題を解説していく。
島根県立古代出雲歴史博物館専門学芸員 品川 知彦 氏



11/8 (土) 「石見銀山遺跡とその文化的景観」～世界遺産 石見銀山遺跡の価値～
世界遺産石見銀山遺跡の「顕著な普遍的価値」のひとつに、“鉱山遺跡が豊富で良好な状態で現存する”ことがあります。石見銀山では採掘から製錬までの作業が、すべて人力・手作業で行われ、このような製錬工房が多数集まることによって、高品質の銀を多量に生産することができました。銀山一帯には600カ所以上の採掘跡(露頭掘り・坑道掘り)や工房跡などの宅跡が1000カ所以上も残っています。これらの遺跡群について現地の遺跡や発掘調査の成果から解説します。またこれまでの総合調査から明らかにされた、当時の鉱山技術の内容にもふれます。
大田市教育委員会石見銀山課課長補佐・遺跡整備係長 遠藤 浩巳 氏



11/9 (日) 「人と自然が織りなす山陰の地域文化・産業の歴史」
山陰地域は、かつては大陸から最先端の技術とそれを使う人々を受け入れる日本の表玄関であった。伝えられた技術は各地に伝播し、さらに確かな技術として育まれ、やがて地域の資源を活かした産業の基盤として新たな展開を即すことになった。また、当地山陰でも地域の産業・経済の発展を支えてきた、山陰地域特有の文化形成にも大きな影響を及ぼしてきた。講義では、山陰地域を例に「表」の時代から「裏(日本)」化していった歴史的な経緯を考察するとともに、人と自然が織りなした山陰の地域文化と産業の変遷を探ることとする。
島根大学副学長 高安 克己 氏






●フィールドワーク



11/5 (水) 「荒神谷遺跡・加茂岩倉遺跡」
大量の青銅器が出土した荒神谷遺跡と加茂岩倉遺跡は、人里離れた谷奥の丘陵斜面にある。青銅器が発見された現地へ訪れ、その立地や埋納状況から弥生人の精神世界を考える。
島根県立古代出雲歴史博物館学芸部長 松本 岩雄 氏
島根大学准教授 会下 和宏 氏




11/7 (金) 「出雲大社・千家国造家・北島国造家」
所造天下大神(あめのしたつくりしのおおかみ「出雲国風土記」)を祀る出雲大社。天照大御神に対する伊勢の斎王とともに、遙かにいしえら所造天下大神の御杖代(みつえしろ)を勤める千家・北島国造。出雲大社と歴代奉祀してきた両国造家について、自然環境・社会環境の両面から見直す。
島根県古代文化センター専門研究員 西尾 克己 氏
島根県古代文化センター専門研究員 岡 宏三 氏

11/7 (金) 「出雲大社の神迎祭」(船佐浜～神迎えの道～出雲大社)
国譲り神話の舞台ともなっている船佐浜。出雲大社の神迎祭はこの船佐浜で行われ、神々は、龍蛇(セグロウミヘビ)を先導として、海から迎え入れられる。そして、杵築町内を巡行した後に、出雲大社に向かい、神々のお休み処とされる境内東西の一九社に迎え入れられる。厳かな雰囲気で行われる神事に参列しよう。
島根県立古代出雲歴史博物館専門学芸員 品川 知彦 氏
島根県古代文化センター専門研究員 岡 宏三 氏

11/8 (土) 「石見銀山遺跡群・石見銀山資料館・大森の町並み」
世界遺産に登録された銀鉱山跡の中核「銀鉱山と鉱山町」を歩きながら解説します。銀鉱山跡には銀生産に関わる遺跡群を中心に、信仰の対象となった寺社や墓地、流通を担った街道、そして生活の場であった鉱山町などが広範囲に分布しています。また鉱山町である「大森銀山重要伝統的建造物群保存地区」や、多くの歴史資料を展示する「石見銀山資料館」を見学し、石見銀山遺跡の全体像を実感していただきます。
大田市教育委員会石見銀山課課長補佐・遺跡整備係長 遠藤 浩巳 氏
島根大学准教授 会下 和宏 氏



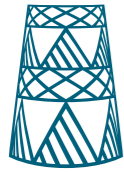



古代出雲の語り部たち

出雲大社
と神々の国のまつり

青銅器
と金色の大刀

出雲国風土記
の世界



出雲大社東隣 島根県立古代出雲歴史博物館 Shimane Museum of Ancient Izumo

〒699-0701 島根県出雲市大社町杵築東 99-4
TEL 0853-53-8600 FAX0853-53-5350 <http://www.izm.ed.jp>

- 開館時間／午前9時～午後6時(11月～2月は午前9時～午後5時)
- 休館日／毎月第3火曜日(その日が祝日の場合はその翌日が休館日です)
- 常設展観覧料／一般600円・大学生400円・小中高生200円



出雲大社

古代出雲歴史博物館

ご利用ホテル

〈参加費に含まれています〉

東横イン松江駅前

島根県松江市朝日町498-10 TEL (0852) 60-1045



JR山陰本線松江駅北口を出て左に徒歩2分のホテル。安心・快適・清潔なホテルをリーズナブルな価格で提供。ビジネス出張や観光旅行に簡単にWEBでホテル予約ができます。

- 主な交通手段 JR松江駅から徒歩3分
- チェックイン 16:00、チェックアウト 10:00



〈参加費に含まれています〉

出雲グリーンホテルモーリス

島根県出雲市駅南町2-3-4
TEL (0853) 24-7700 FAX (0853) 24-7711



観光で疲れた体を癒すには、マイホーム感覚で、ゆったり過ごせる快適な空間がなにより大切。そんな思いで徹底的にこだわった出雲グリーンモーリスです。

- 主な交通手段 JR出雲駅駅から徒歩1分
- チェックイン 15:00
- チェックアウト 10:00

募集要項

- 募集人員／40名
- 最少催行人員／20名
- 開講期間／平成20年11月4日(火)～9日(日) 6日間
- 開講場所／島根大学(おもに松江キャンパス)
- 参加費／98,000円(税込み)
- 締切日／平成20年10月24日(金)
- 申込方法／下記の①～④の申込方法から選択してお申し込み下さい。
※申込金(20,000円)が必要となります。

含まれるもの

- 講義受講料 ●フィールドワーク経費
- 宿泊費(5泊朝食付) ●拝観・入館料
- 保険料 などを含みます。(ホテルは、原則、シングルルーム)

含まれないもの一部

- ご自宅から松江市まで、ホテル(松江)から大学の往復の移動費
- 懇親会費(11月6日/3日目)

① 平成出雲塾受付デスクへTEL



山陰支店
〒690-0887 松江市殿町171 (県庁前)
☎(0852) 22-4893
【営業時間】月～金 9:30～17:30 土・日・祝祭日・年末年始は休業
総合旅行業務取扱管理者 洲崎 浩

カタチにします。ときめき・キラメキ・おもてなし

② ホームページを見てお申し込み

<http://www.knt.co.jp/jichitai/manabutabi/izumo>

③ 全国のknt! 各支店へ

④ 東京コンタクトセンター ☎03-6731-1111

ご旅行条件書(抜粋・宿泊プラン型) ※詳しい旅行条件を説明した書面をお渡ししていますので、事前にご確認の上お申し込みください。

1. 募集型企画旅行契約

近畿日本ツーリスト株式会社(以下「当社」という)が企画・募集し実施する企画旅行であり、この旅行に参加されるお客様は当社と募集型企画旅行契約を締結することになります。又、契約の内容・条件は、募集広告(パンフレット等)の各コースごとに記載されている条件のほか、下記条件、最終旅行日程表及び当社の「旅行業約款(募集型企画旅行契約の部)」によりします。

(当パンフレットはこのご旅行条件書において、契約書面の一部といたします) 当社が手配し旅程を管理する業務を負う旅行サービス範囲は、当契約書面に記載いたします。

託営業所(以下「当社」といいます。)のそれぞれの営業日、営業時間内に取消する旨をお申し出いただいた時を基準とします。

■キャンセル

- 平成塾開始日以降のキャンセルによる受講料の返金は一切いたしません。
- キャンセルの場合には所定のキャンセル料を差し引いてご返金します。
・キャンセル料→講座開始日2週間前まで…… 2,000円
講座開始日1週間前まで…… 20,000円
講座開始日前日まで…… 50,000円

2. 旅行の申し込み

- (1) 申込書に所定の事項を記入のうえ、お一人様につき下記の申込金を添えてお申し込みいただけます。お申込金は旅行代金、取消料または違約料のそれぞれの一部として取り扱います。またお客様が旅行の参加に際し、特別な配慮を必要とする場合には、お申し込みのときにお申し出ください。可能な範囲内で当社はこれに応じます。
- (2) 当社は電話、郵便ファクシミリその他の通信手段によるお申し込みを受け付けます。この場合予約の時点では契約は成立していません。当社が予約の承諾を通知した翌日から起算して3日以内に申込書と申込金を提出していただきます。

4. 申込条件

15歳未満の方のご参加は、父母又は親権者の同行を条件とします。(但し一部のコースを除きます。)15歳以上20歳未満の方のご参加は、父母又は親権者の同意書が必要です。

5. 確定書面(最終日程表)の交付

当契約書面において旅行日程または重要な運送・宿泊機関の名称が確定されない場合には、利用予定の宿泊機関及び表示上重要な運送機関の名称を限定して列挙した上で、契約書面の交付後、旅行開始日の前日(旅行開始日の8日前以降のお申し込みに関しては旅行開始日)までに、これらの確定状況を記載した書面(以下「確定書面」といいます)をお渡しいたします。

6. 旅行代金のお支払

旅行代金は旅行開始日の15日前までにお支払いください。

旅行代金に含まれるもの

- 旅行日程に明示した運送機関の運賃・料金(注釈のないかぎりエコノミークラス)、宿泊費、食事代及び消費税等諸税。
- 添乗員が同行するコースでは、この他に添乗員経費、団体行動に必要な心付を含みます。上記の諸費用は、お客様の都合により、一部利用されなくても払い戻しいたしません。(行程に含まれない交通費等の諸費用及び個人的費用は含みません)

7. お客様からの旅行契約の解除

- (1) 旅行開始前
お客様はいつでも次に定める取消料(お一人様につき)をお支払いいただいで、旅行契約を解除することができます。この場合、既に収受している旅行代金(あるいは申込金)から所定の取消料を差し引き払い戻しいたします。申込金のみで取消料がまかなえないときは、その差額を申し受けます。(なお、表でいう取消日とは、お客様が当社及び旅行業法で規定された「委

3. 契約の成立と契約書面の交付

- (1) 募集型企画旅行は、当社が契約の締結を承諾し前項の申込金を受領したときに成立するものとします。
- (2) 通信契約は前項の規定に関わらず、当社が契約の締結を承諾する旨の通知を発送したときに成立するものとします。ただし、契約締結を承諾する旨をe-mail等の電子承諾通知の方法で通知した場合は、その通知がお客様に到達した時に成立するものとします。
- (3) 当社は契約の成立後旅行日程、旅行サービスの内容その他の旅行条件及び当社の責任に関する事項を記載した書面(以下「契約書面」といいます)をお渡しいたします。

■ 個人情報取扱いについて

- (1) 近畿日本ツーリスト(株)(以下「当社」)および以下「販売店」(記載の受託旅行者(以下「販売店」))は、旅行申込みの際にご提出いただいた個人情報について、お客様との連絡や運送・宿泊機関等の手配のために利用させていただきます。必要範囲内において当該機関等に提供いたします。
- (2) 当社および当社のグループ企業であるKNTツーリスト等販売店が取り扱う商品、サービスに関する情報をお客様に提供致します。
- (3) 上記のほか、当社の個人情報の取扱いに関する方針については、当社の店頭、又はホームページでご確認ください。

■ 国内旅行傷害保険加入のおすすめ

安心してご旅行をしていただくため、お客様ご自身で保険をかけられますようおすすめいたします。

8. 当社からの旅行契約の解除及び催行の中止

- (1) 旅行開始前
当社は次に掲げる場合において、旅行開始前に国内募集型企画旅行契約を解除することがあります。
●最少催行人員に満たないときは旅行の実施を取りやめることがあります。この場合は旅行開始日の14日前(日曜の旅行は4日前)までにご連絡を当社にお預かりしている旅行代金は全額お返しし、この旅行契約を解除いたします。

9. 添乗員等個人旅行プラン

個人旅行プランには添乗員は同行いたしません。お客様が旅行サービスの提供を受けるために必要なクーポン類をお渡しいたしますので、旅行サービスの提供を受けるための手続きはお客様自身で行っていただきます。また、悪天候等によって旅行サービス内容の変更を必要とする事由が生じた場合における代替サービスの手配及び必要な手続きはお客様ご自身で行っていただきます。(集合場所では係員が受付、出発等のご案内をいたします。)

10. 基準期日

この旅行条件は、2008年9月1日現在を基準としています。

旅館・ホテル等において、お客様が酒類・料理・その他のサービス等を追加された場合は、原則として消費税等の諸税が課せられますのでご了承ください。

旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う支店での取引の責任者です。この旅行契約に関し、担当者からの説明にご不明な点があれば、ご遠慮なく旅行業務取扱管理者にご質問下さい。

写真は全てイメージ写真です。

開府400年を迎えた城下町松江

風光明媚な自然を守り、豊かな文化をはぐくむこのまちの「和の心 日本的美」をご堪能ください。



松江開府400年祭

2007~2011

1607年(慶長12年)、堀尾吉晴公により「城下町松江」のまちづくりが始まり、5年の歳月をかけ1611年(慶長16年)に松江城と城下町が完成しました。それから400年。吉晴公の情熱にちなみ、松江では2011年まで「松江開府400年祭」を開催し、さまざまなイベントを開催します。



●松江城

1611年、堀尾吉晴が築城。千鳥が羽を広げたような千鳥破風の屋根から「千鳥城」ともよばれる。山陰地方で唯一現存する天守閣は国の重要文化財である。



●宍道湖

日本で7番目に大きな湖。淡水と海水が混ざり合う汽水湖には、シジミをはじめ宍道湖七珍と呼ばれる魚介類が豊富。また宍道湖に沈む夕日の美しさは格別。



●堀川遊覧船

松江城の堀を船頭さんの案内でめぐる人気の遊覧船。16の橋をくぐりながら、ゆったりと城下町松江の景色を眺めることができる。



●松江フォーゲルパーク

花と鳥の公園。世界最大級の室内ガーデンには、一年中ペゴニアやフクシアが楽しめる。フクロウショーが人気。



●神魂神社

本殿は現存する大社造りの最古のもので国宝に指定されている。



●出雲そば

出雲そばはそばの甘皮も一緒にひいて使うため色が黒く、味にコクがあり香りも強い。「割子そば」ともいい。割子という碗にそばが盛られている。



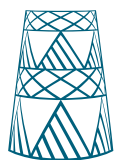
●お茶と和菓子

茶人として名高い松江藩主松平治郷公(不昧公)にちなみ、松江ではお茶の文化が根付いている。京都金沢とならぶ和菓子処としても有名。



人とともに 地域とともに
国立大学法人
島根大学

〒690-8504 島根県松江市西川津町1060
TEL 0852-32-6100



島根県立古代出雲歴史博物館
Shimane Museum of Ancient Izumo

〒699-0701 島根県出雲市大社町杵築東99-4
TEL 0853-53-8600

申込先



カタチにします。ときめき・キラメキ・おもてなし

山陰支店
〒690-0887 松江市殿町171 (県庁前)
(0852) 22-4893
【営業時間】月~金 9:30~17:30 土・日・祝祭日・年末年始は休業
総合旅行業務取扱管理者 洲崎 浩

国土交通大臣登録旅行業第20号

(社)日本旅行業協会正会員

ボンド保証会員

旅行業公正取引協議会会員

